

2017/2/9

(日々雑感 9)



家を退去して以来、本格的な雨が降るのは初めてのようになります。前にいた家の周りも雨が降っているのでしょうか？

雨だと外に出たくなくなるので、書いてばかりいます。それで今日は投稿数が多いのです。そういえば、学生の頃、山之口獺と言う人の詩集を読んだことを思い出しました。確か沖縄出身の貧乏詩人。

その中の一節で、うろ覚えですが、こんな感じの詩がありました。題名は分かりません。

「楽という座布団の上に座ったさみしさよ」とかなんとか。

貧乏になると貧乏だった人の作品に目が向いたりするようです。

ただ、山之口獺とぼくの違いは、山之口獺は普段ずーっと貧乏で、たまに良い思いをして楽の上に座ったら、それはかりそめのものだから、却って夢が覚めたときを予感して、馴染みのなさにさみしいと言っているのに対して、ぼくは普段お金に不自由はしていない身が、たまたま一時？貧乏になっているという、正反対の関係なのです。

貧乏になったかならないかは別にして、そんな境遇でありながら、とてもユーモラスで明るくて、むしろ貧乏を楽しんでいるような気来さえある山之口獺が好きだったのですが、今回のことがあって、更に好きになったような気がします。

山之口獺のことを真面目に思い出したのは、それこそ40年ぶりくらいなのですが、うろ覚えにせよ詩の一節まで覚えていたと言うことは、何かご縁があったのかもしれませんが。

(注：写真は google 画像検索で拾って貼り付けました。手元に詩集はありません)